



# あれこれ通信 NO. 99

渋谷とみ子の議会報告 2021年8・9月

埼玉県比企郡嵐山町千手堂 39-46 渋谷とみ子 TEL/FAX 0493-62-7997

<http://space.tom.shibuya.com> Email shibuya97@s4.dion.ne.jp

## 少しでも気候変動を抑えよう！

洪水の災害が頻発しています。嵐山町はお金稼ぎよりも、気候変動を抑える政策を。

2030年までにあと9年。

気象庁のデータでは、日本沿岸の平均海面水位は、30年前よりも、8.7cm上がっています。このまま気候変動への対策をとらないと、日本では2030年には600万～700万人に影響があると予測され東京都では台風等による浸水被害で、83万5千人、80km<sup>2</sup>が影響を受けると予測されています。

嵐山町は海から遠いのですが、影響あります。平均的には気温が1℃上がると水蒸気量が約7%増え、大雨の雨量も約7%以上増えると予測されています。コロナ感染症とともに地球上の課題です。原因は化石燃料(石炭・石油)の燃焼による温室効果ガスの過度な排出が引き起こす、地球の平均気温の上昇です。

2021年6月議会では、

嵐山町のこれからの10年間の基本的構想を決定しました。20年間の都市計画マスタープランも決定しました。

**残念！気候変動の危機への政策がないのです。嵐山町でも気候変動を抑える**

**以下のような政策は必要です。**

- ① 緑地面積を減らさない
- ② エネルギーの自給率を上げていくこと  
(ガソリン・石炭)のエネルギーをやめて再生可能エネルギーを使うこと
- ③ 工場などの屋根上の太陽光発電施設の設置を勧め、地域電力をつくり、その電力を嵐山町公共施設や住宅で使う

